第35号 平成26年〈1月号〉

# ふれあいニュースレター

【政府原子力被災者生活支援チームからのお知らせ】

今週のほっと・ニュース

## ふるさとで迎える新たな年は、笑顔あふれる一年になりますように。

（楢葉町木戸川に昇る初日の出）

（南相馬市小高区村上海岸から昇る初日の出）

（楢葉町天神岬から昇る初日の出）

（楢葉町天神岬で初日の出を拝む方々）

～今回の年末年始の避難指示解除準備区域等における特例宿泊は、新たに南相馬市の小高区、楢葉町でも実施。６市町村において、約１，７９０人、約５８０世帯の方々が、地元で年末年始を過ごされました。～

## 暮らし関連情報
## あんぽ柿を食べて応援しよう！

農林水産省と経済産業省は、福島県産のあんぽ柿の販売を庁舎内の売店で平成２５年１２月１６日から始めました。

購入した方々の反応は「大きな実が食べごたえがあって、とろりとした食感で、上品な甘さが後を引きます！」と大好評でした。

今後も福島県産品の販売促進や被災地復興に向けた取組を進めてまいります。

農林水産省の販売の様子

経済産業省の販売の様子

WEB 詳しくは、農林水産省のホームページをご覧ください。
http://www.maff.go.jp/j/shokusan/eat/131211.html

## NEWS 「原子力災害からの福島復興の加速に向けて」が決定（平成２５年１２月２０日）

国は原子力災害対策本部及び閣議において、平成２５年１２月２０日「原子力災害からの福島復興の加速に向けて」の指針を決定しました。

指針は（１）帰還に向けた取り組みの充実と新たな生活の開始に向けた支援の拡充の両面からの福島支援、（２）予防的、重層的な汚染水対策の実施と廃炉推進に取り組む体制の強化など、東京電力福島第一原発の事故収束に向けた取り組みの強化、（３）国と東京電力の役割分担の明確化による国が前面に立った原子力災害からの福島の再生の加速、の三つの大きな方向性を示しています。

国は今後、地元とも十分に協議しながら、福島再興の道筋を具体化していくことになります。

WEB 詳しくは、経済産業省のホームページをご覧ください。
http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.html#kasoku

■暮らし関連NEWS 2

「ふるさと富岡」を取り戻すため現地でがんばっています!!!

被災地向け企業立地補助金の公募開始（平成２５年12月20日）

■暮らし関連3

「本格再開を目指し、厳しくても、がんばって営業しています。」

■NEWS 4

浜通り等の25年末～26年始の風景

# 暮らし関連情報

◆◇復旧課・復興推進課（富岡町）◇◆

# 「ふるさと富岡」を取り戻すため現地でがんばっています!!!

富岡町は、現在郡山市に役場機能を移転していますが、復興の加速化を図るため、町道、下水道等の復旧工事を担当する「復旧課」が昨年（２５年）７月から、除染計画や都市計画等を担当する「復興推進課」が同年１１月から、それぞれ双葉地方水道企業団建物内に「楢葉分室」として拠点を移して業務を行っています。

現地で「ふるさと富岡」の復旧・復興のために汗を流す職員の方々に、熱い思いを語っていただきました。

## 復興推進課

○課長　髙野善男さん

東日本大震災・原発事故から、避難して２年９ヶ月が過ぎ、私や一部の課員の生家は区域再編で帰還困難区域になりました。この間町職員は、日々の対応に追われ、「ふるさと富岡」を顧みる余裕もありませんでした。

昨年、復興推進課ができて、ようやく「ふるさと」を取り戻す第一歩となる事業が始まろうとしています。現在、「ふるさと富岡」は、牛、イノシシ、猪豚、ネズミ等々による被害が深刻化し、荒廃しきっています。その背景の基となっている放射線物質よる汚染を除染で取り除ければ、震災で被災を受けたインフラ、家屋、農地等の復旧・修繕・維持管理等が進みますし、生活環境が整えていくことができます。課員一同には苦労をかけることになりますが、自分のふるさとのため奮起してもらい、国と一丸となって対応していきたいと考えています。

気合い十分！　個性豊かな復興推進課の皆さん

（写真左から）
主事　橋本壮史さん、副主幹兼係長　杉本良さん、
課長補佐　竹原信也さん、課長　髙野善男さん、
副主幹兼係長　斉藤一宏、除染対策係　猪狩重光さん、
副主幹　中川雅市さん、主事　半谷尚之さん

## 復 旧 課

○主任兼管理係長　久保田泰弘さん

私は、町道の維持管理業務等をメインに担当しております。

昨年３月の区域見直し以降、町民や事業者等の出入りが可能となったことから皆さんが安全に通行できるよう日々修繕等対応しております。

重要インフラである町道の被害箇所の確認、災害査定、測量・設計を実施し、また、下水道施設の要である富岡浄化センターの復旧設計作業を進めています。

今後は、除染作業の進捗等課題はありますが、復旧工事の着手に向けて、復旧課職員一同、一丸となって取り組んでいきます。

○管理係主事　志賀一穂さん

私は、町道の復旧及び維持管理に関する業務を担当しています。

今後本格化する除染作業が終わり次第、順次、壊れた道路を町の南側から修繕する準備をしています。

皆さんが安心して道路を走行できるよう、そして震災前以上の新しい魅力ある富岡町になるよう、努力していきます。

○復旧係主査　浅野剛志さん

昨年１０月より滋賀県彦根市役所から派遣職員として復旧課にまいりました。

職員の皆さんの富岡町に懸ける情熱、熱意、やる気とともに、日々の仕事に目的意識を持って頑張る姿を見て、感銘を受けました。私も復旧課の一員として、富岡町の復興を目指してがんばります。

開庁時間　：　８：３０～１７：００（土日祝日は日直対応）
住　　所　：　福島県双葉郡楢葉町大字上小塙字小山６－２
双葉地方水道企業団　小山広域浄水場　管理本館２階事務室内
ＴＥＬ　：　０１２０－３３－６４６６

# NEWS 被災地向け企業立地補助金の公募開始（平成２５年１２月２０日）

経済産業省は、津波浸水地域及び原子力災害被災地域において工場等を新増設する企業に対し、その経費の一部を補助することにより、企業の立地を円滑に進め、雇用を創出することを目的とした「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金（第２次）」の公募を開始しました。

また、福島県は、「ふくしま産業復興企業立地補助金（第５次）」の公募を開始しました。今回は建屋建設を伴わない機械設備等の整備を主な支援対象としています。

被災地域復興のためには、事業所の再開、雇用の確保が大変重要で、平成２５年１２月現在、それぞれ１５１件、３８０件が採択されています。

## ■ 公募期間

平成２５年１２月２０日（金）～平成２６年２月２４日（月）正午まで

WEB

詳しくは、以下の公募に関するホームページをご覧ください。

津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金（第２次公募）
http://www.mizuho-ir.co.jp/topics/tsunami-ritti/02/02.html
http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/k131220001.html

ふくしま産業復興企業立地補助金（第５次公募）
http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=10766

## 暮らし関連情報

◆◇ブイチェーンネモト本店（楢葉町）◇◆

# 「本格再開を目指し、厳しくても、がんばって営業しています。」

「先代は昭和３６年から楢葉町内で肉屋を営んでいましたが、後にブイチェーンに加盟し、震災以前は生鮮食料品や生活用品を取り扱う、地域に密着したスーパーとして店舗展開をしてきました。当店（本店）は去年（２５年）５月に、ようやく営業再開までこぎつけました。」とおっしゃるのは、ブイチェーンネモト社長の根本茂樹さんです。

「震災直後は避難しましたが、２か月後から、広野ドライブインやＪヴィレッジ、いわき市の上荒川仮設住宅内で順次営業を開始すると同時に、食事に困っている除染作業員の方々向けに、作業現場にお弁当を配達する事業を始めました。そして楢葉町での除染作業の本格化にともない去年の３月頃に本店での再開を決意しました。

以前から働いていた従業員の半数程が戻ってきてくれて、思いのほか人材がスムーズに集まったことも幸いしました。」

「現在、お客さんの大半は除染作業員の方々で、主に弁当や惣菜が売れ筋商品となっています。売上は、震災前に比べると大変厳しい状況ですが、弁当のメニューを工夫したり、いわき市で再開した町内のベーカリーで毎朝作った焼き立てのパンを販売したり、店内に新たにイートインのスペースを設置したりするなど、お客さんの要望にできるだけ応えるように心がけ、リピーターとして来ていただいている方も増えてきました。」と前向きなお話があった一方で、

「本店の建物は、地震による被害はほとんどなかったのですが、避難している最中に冷蔵庫の冷媒ガスが抜けてしまい、週末に向けて大量に仕入れていた在庫が大量の生ごみになってしまいました。放射能汚染されていない事業系廃棄物は特措法上は、国で処理する対策地域内廃棄物の対象とならず、自費で処分しなければならないとのこと。相当出費してかなりの量を処理したのですが、まだ大量のごみを未処理のまま保管しています。これはなんとかならないものでしょうか。」

「現在は、店に足を運んでくれる町民の方はまだまだ少なく復興に向かっている実感はあまりありません。また、悪天候などで除染作業が中止になると途端に客足が減ってしまうのが現状で、除染作業が一段落する近い将来、来客数が激減してしまうのをとても心配しています。

それでも従業員の雇用を考えるとなんとか営業は続けていきたいと思っています。」

根本さんは、厳しい見通しの中での今後の課題を話されました。

店内には豊富な商品を揃えています

ＪＲ常磐線竜田駅近くに立地しています

正直他の店舗とトータルしても利益はでていません。それでも、将来の本格営業に繋ぐための「仮営業」として、儲けは度外視して営業しているというのが本音です。

震災から３年近く経過し町は様変わりしましたが、以前のような活気ある楢葉町に戻ることを心から望んでいます。

ブイチェーンネモト　社長　　根本　茂樹さん（左）と
本店店長　梅田　敬之さん（右）

昼にはお弁当やお惣菜を求めに来るお客さまで賑わいます

好評のイートインスペースです

### ◆◇◆　復興に向けた事業者からのメッセージ　◆◇◆

地元商工会の話では、来年度から国の支援で、国道６号沿いに仮設店舗を設置する計画があるとのことです。これまで国の支援制度は特に使っていませんでしたが、うまく使えそうなものがあれば、積極的に活用して、店を盛り上げていきたいです。

**ブイチェーンネモト本店　9:30～18:00（日曜祝日休み）**
**福島県双葉郡楢葉町大字井出字西原１２**
**連絡先：０２４０－２４－３１６５**

# 暮らし関連情報
# 浜通り等の25年末～26年始の風景

【飯舘村】12／22、23（猪苗代町）
いいたてっ子だよ！全員集合♪

【葛尾村】12／21（三春町）
かつらお子供絆クリスマス会

【富岡町】
勇気と感動をくれた富高サッカー部の全国選手権大会での活躍！

【川俣町】　元旦走り始め

【川俣町】1／4
川俣町消防団出初め式

【南相馬市】
小高神社の新年参拝の様子

【田村市】圓壽寺の年越しの様子

【浪江町】12／31
大聖寺の鐘突きの様子

【川内村】長福寺の元日の様子

【広野町】
楢葉八幡神社の年越しの様子

【楢葉町】北田神社の元旦の様子

【浪江町】12／30（二本松市）
旧平石小仮設住宅の門松・鏡餅作り

【双葉町】1／4（いわき市）
平成26年双葉町成人式

【大熊町】12／22／（いわき市）
大熊っ子みんな集まれ

## 「ふれあいニュースレター」バックナンバーのご案内

過去の「ふれあいニュースレターにつきましては、以下のアドレスよりご覧いただくことが可能です。ぜひご覧ください。

http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.html

発行　政府原子力被災者生活支援チーム